

マルチ棚 (EEX-DPR02シリーズ)組立説明書

この度は弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
ご使用前にこの組立説明書をよくお読みください。
とくに「安全上のご注意」は必ずお読みになり、安全に正しくご使用ください。
この組立説明書はお手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

組立説明書は組立て後も 大切に保管してください。

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

Ver1.0

★用意していただくもの・・・プラスチックハンマー、
プラスドライバー、電動ドリル、スパナ(10mm)、鉛筆、
手袋 (組立て時のケガ等を防ぐために着用することをおすすめします)

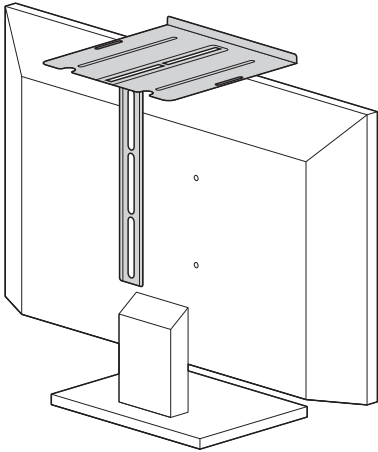
必ずお守りください

本製品を壁に取付ける場合は特別な技術が必要です
で、必ず専門の取付け工事業者へご依頼ください。
お客様による工事は一切行わないでください。

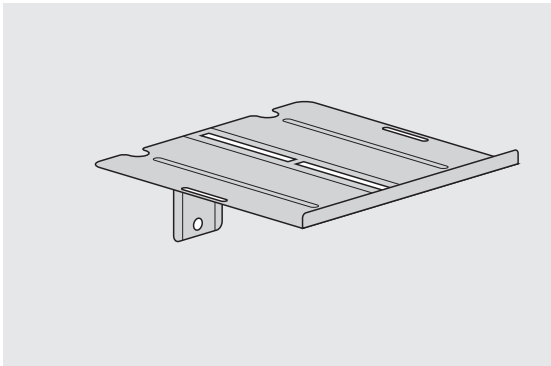
※販売店様・工事業者様へ

- 組立説明書をよく理解していただいたうえで取付けてください。
- お客様の安全のため、専門的に壁面を診断のうえ、十分な強度を持つ最適な取付け方法を決めて取付けてください。
- 組立説明書で指定しているボルト類は全数を実際に取付けてください。
- 取付け不備や取扱い不備による事故や損傷については、弊社は責任を負いません。
- 本製品を壁面に設置後、撤去しますと壁面に取付けボルト、アンカーが残ります。ご了承ください。

<ディスプレイの背面へ取付ける場合>



<壁面へ取付ける場合>



耐荷重3kg

安全上のご注意 (必ずお読みください)

この組立説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



この記号は「してはいけないこと(禁止)」を示しています。



この記号は「必ず実行して欲しいこと(強制)」を示しています。



この記号は「気をつけてほしいこと(注意)」を示しています。

■ 取付け場所について



警告 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡
または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



強度が不十分な壁面や垂直でない壁面、平面でない壁面には取付けしないでください。
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。



振動の多い場所や、ドアや家具が当たるなどの力の加わる場所には取付けしないでください。
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。



通風孔をふさぐような場所には取付けしないでください。
火災、故障、感電または落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。



壁面は棚に載せる物と本製品を合わせた荷重に長期間耐える十分な強度が必要です。
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。



地震や予想される振動、外力にも十分耐えるように設計し、取付けてください。
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。



必ず柱や梁などの堅牢な芯材で荷重を受けるように取付けてください。
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。



壁面への取付けボルト類は付属してありますが、材質や強度によって不都合場合があります。
その場合は強度に十分ご注意のうえ、市販の適切なボルト・アンカー類をご用意ください。



注意 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性
または財産に損害が発生する可能性がある内容を示しています。



各家屋によって壁面の構造や強度は異なります。壁面に取付ける場合は
工事業者様が専門的に壁面を診断のうえ、最適な取付け方法を決めて工事してください。



本書に記載してある取付け方法は一例として参考にしてください。



鉄柱や鉄骨には取付けできません。

■ 取付け方法について



警告 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡
または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



重量3kgを超えるものを載せないでください。
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。



壁面に取付ける場合、専門の取付け工事業者以外には取付け工事を行わないでください。
工事の不備により、落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。



部品の改造をしないでください。破損した部品・ボルト類は使用しないでください。
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。



指定しているボルト類や固定具は全数を実際に取付けてください。
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。



必ず付属の部品をご使用のうえ、取付け手順を守ってください。
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。



取付け作業中はディスプレイや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから
抜いてください。破損、感電など思わぬ事故の原因になります。

■ 取付け後のご使用について



警告 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡
または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



ボルト類がゆるんだ状態で使用しないでください。
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。



ぶら下がるなど、荷重をかけないでください。
落下や破損、感電、けがなど思わぬ事故の原因になります。



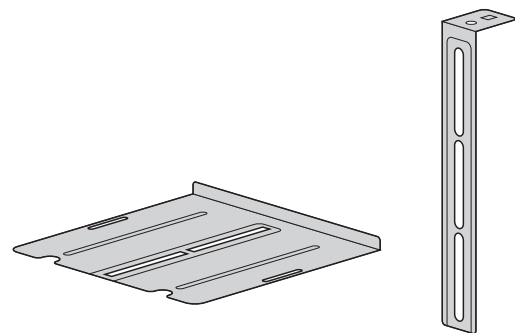
取外し、移動などは必ず専門の工事業者にご依頼ください。
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。



お子様に触れさせないように十分ご注意ください。
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

組立て部品

※部品の欠品や破損があった場合は、品番(EEX-DPRO2)と下記の部品番号(①～⑮)と部品名(アンカーなど)をお知らせください。

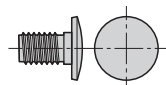


①棚板A×1枚

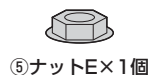
②ステー(大)B×1個

③ステー(小)C×1個

<使用ボルト>

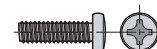


④ボルトD×1本 (M6×10)

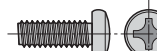


⑤ナットE×1個

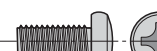
<ディスプレイへの取付け用ボルトセット>



⑥ボルトM-A×1本 (M4×14)



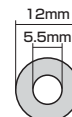
⑦ボルトM-B×1本 (M5×14)



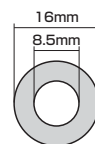
⑧ボルトM-C×1本 (M6×14)



⑨ボルトM-D×1本 (M8×15)



⑩ワッシャーM-E×1枚

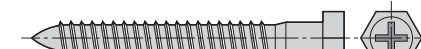


⑪ワッシャーM-F×1枚

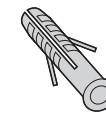


⑫スペーサーM-G×1個

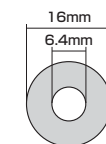
<壁面への取付け用ボルトセット>



⑬タッピングボルトW-A×2本 (6.3×55)



⑭アンカーW-B×2本

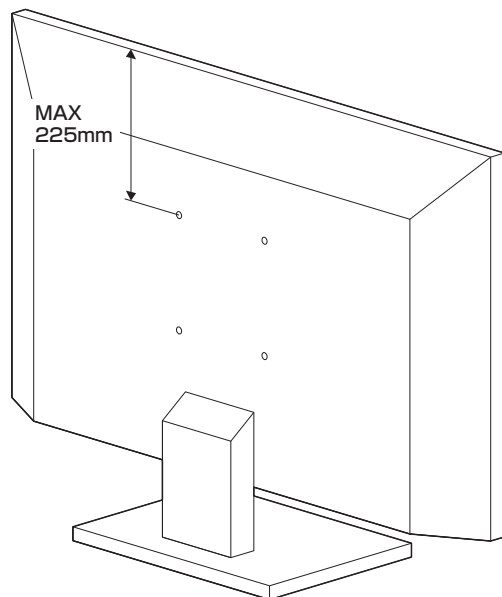


⑮ワッシャーM-C×1枚

<ディスプレイの背面へ取付ける場合>

取付けの前に

背面のネジ穴から上面までの長さが225mm以下のディスプレイに取付け可能です。



安全の為に注意していただく点

⚠ ディスプレイの形状により取付けできないものがありますので、はじめにご確認ください。

⚠ 耐荷重以上の重さの物を載せないでください。また、荷重が片寄らないように使用してください。破損や落下の原因となります。

⚠ 耐荷重以下の重さの物を載せている場合でも、ディスプレイの構造や安定性によっては、ディスプレイが転倒する恐れがあります。転倒しないことを確認の上、ご使用ください。

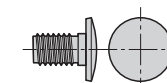
⚠ 子供やペットの手の届かない場所で使用してください。

⚠ 割れ物、水分のあるものは載せないでください。思わぬ事故の原因となります。

以上の点に注意して取扱ってください。

1. 棚板Aにステー(大)Bを取付けます。

<使用ボルト>



④ボルトD (M6×10)

⑤ナットE
※丸い方が上です。

②ステー(大)B
※曲がっている方が前です。



①棚板A
※曲がっている方が前・上です。

④ボルトD
※根元まで差し込みます。

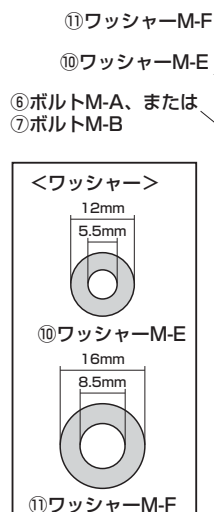
<ディスプレイの背面へ取付ける場合>

2.ディスプレイの背面にステー(大)Bを取付けて完成です。

<注意>

ボルトが長すぎるとディスプレイを破損する場合があります。
また、ボルトが短すぎると本製品がしっかりと固定できず脱落する恐れがあります。
取付けに適したボルトの長さは各ディスプレイによって異なります。
必ずディスプレイの取扱説明書や、メーカーへの問い合わせなどで確認の上、取付けるボルトの長さを決めてください。

<M4・M5ボルトを使用する場合>



※ディスプレイの上面に載せます。
上
前

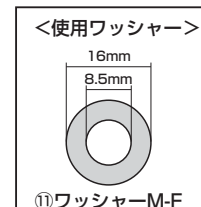
ボルト穴部分にくぼみがある場合

※スペーサーM-Gを使用してください。

12 スペーサーM-G

<M6・M8ボルトを使用する場合>

11 ワッシャーM-F
8 ボルトM-C、または
9 ボルトM-D



※ディスプレイの上面に載せます。
上
前

ボルト穴部分にくぼみがある場合

※スペーサーM-Gを使用してください。

12 スペーサーM-G

<壁面へ取付ける場合>

必ずお守りください

本製品を取付ける場合は特別な技術が必要です。必ず専門の取付け工事業者へご相談ください。
お客様による工事は一切行わないでください。

<注意>

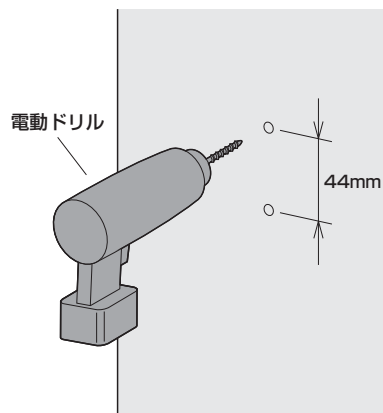
地震や予想される振動、外力にも十分耐える場所に取付けてください。
強度が低いと落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因となります。

1.設置する壁面に穴を開けます。

※必ずコンクリートの壁か、もしくは壁の内部に木製の芯材がある場所に取付けてください。
壁面はディスプレイと本製品(約290g)を合わせた荷重に長期間耐える十分な強度が必要です。

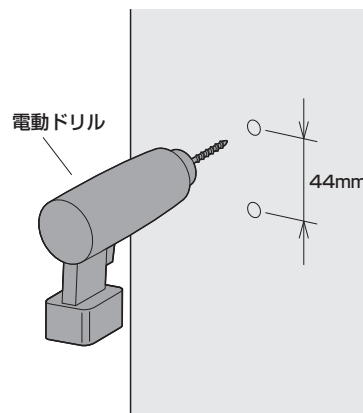
<木製の壁面へ取付ける場合>

電動ドリルを使い、直径4.5mm、深さ55~60mmの穴を開けます。



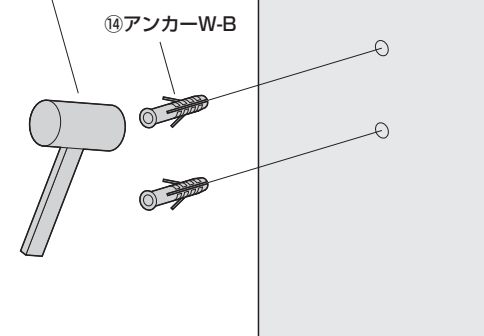
<コンクリートの壁面へ取付ける場合>

①電動ドリルを使い、直径10mm、深さ55~60mmの穴を開けます。



②下穴にアンカーを差し込みます。

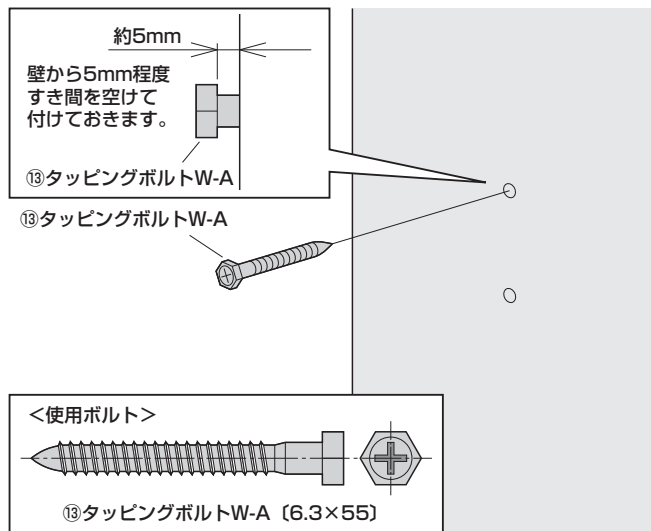
プラスチックハンマー
※アンカーが入りにくい場合に叩き入れます。



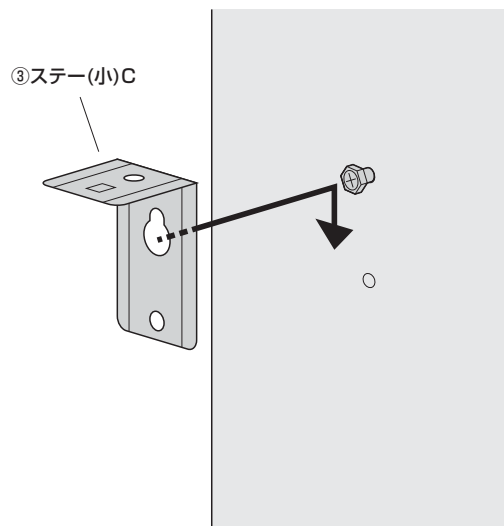
<壁面へ取付ける場合>

2.壁面にステー(小)Cを取付けます。

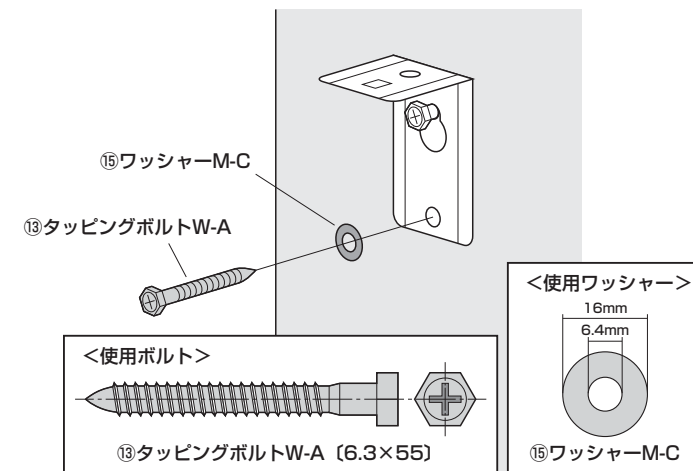
①上側の穴にタッピングボルトW-Aを取付けます。



②ステー(小)Cの大きい方の穴をタッピングボルトW-Aに引っ掛けます。



③下側の穴をタッピングボルトW-Aで固定します。



※取付け後、上側のタッピングボルトW-Aをしっかり締め付けます。

3.ステー(小)Cに棚板Aを取付けて完成です。

